

名古屋大学短期交換留学受入れプログラム (NUPACE) の日本語教育に対するニーズ調査

—2019年11・12月の調査において—

石崎俊子、許 明子、俵山雄司

要 旨

名古屋大学短期交換留学受入れプログラム（NUPACE）は日本語、日本研究・国際理解科目、そして専門分野科目で構成された半年から1年の教育プログラムである。多様化している留学生の日本語教育に対するニーズに適切できるカリキュラムを構築するため、日本語教育のニーズに関する質問紙調査を行った。結果、①授業以外での日本語使用状況は中級と上級学習者においてはほぼ全員が使用しており、相手は「友達」がどのレベルでも多かった。②日本語の授業以外での日本語の必要性は初級は「買い物」中級は「日常生活」、上級は「コミュニケーション」が多く見られた。③留学期間中の日本語の到達目標は、初級はレストラン、スーパーなどの簡単な日常会話、それ以上のレベルではレベルが上がるにつれ質の高い会話を目指していることが明らかになった。

キーワード

短期交換留学、学習者のニーズ

目 次

1. 調査の目的
2. 調査の方法
3. 集計結果
 3. 1 属性
 3. 1. 1 出身国と地域
 3. 1. 2 留学期間

- 3. 1. 3 日本語のレベル
- 3. 1. 4 日本語学習歴
- 3. 2 学習者の日本語の授業以外での日本語使用状況
 - 3. 2. 1 日本語の授業以外での日本語の使用の有無
 - 3. 2. 2 日本語の授業以外で日本語を話す相手
 - 3. 2. 3 日本語の授業以外で日本語を話す時間
- 3. 3 学習者の日本語の授業以外での日本語の必要性
- 3. 4 学習者の日本留学期間の日本語の到達目標
 - 3. 4. 1 日本語の到達目標
 - 3. 4. 2 日本語能力試験（JLPT）の合格目標
 - 3. 4. 3 一番上手になりたい技能
- 4. まとめと今後の課題

1. 調査の目的

名古屋大学のNUPACEの教育プログラムは、日本語研修、日本研究・国際理解科目、そして専門分野科目で構成されたプログラムである。基本的に講義は英語によって行われ、日本語研修、日本研究・国際理解科目、専門分野科目そして専門分野の個人研究について、自分の興味や留学目的に応じて受講することができる。1996年のプログラム開始当初と比較すると現在の留学整数は4倍に膨れ上がり、毎学期、約150名の留学生が名古屋大学で学んでいる。そのうちの約80%の留学生は国際言語センターが提供する日本語の授業を1から15単位の幅で受講しており、出身大学での単位互換が可能であれば、名古屋大学の日本語の授業の単位も卒業単位として認定される仕組みになっている。留学生は専門科目のスケジュールとの兼ね合いから受講できる日本語の授業の数が変わってくるが、延べ数で毎学期約250人が日本語の授業を受講している。

2018年と2019年の国際言語センター年報で報告されているが、2017年までの数年間、毎日90分2コマで提供していた初級の集中コースの受講者数が減少する反面、90分1コマの標準コースを受講する学生が著しく増加す

る、又、上級のコースに人数が集中するという傾向が見受けられた。この状況を受け、初級の90分2コマの集中コースを90分1コマコースに変更し、その代わりに以前から需要のあった上級の90分1コマコースの種類（レベル8の超上級コース、総合日本語コースなど）を増やし、学習者のニーズに沿った幅広い日本語の授業の選択肢を取り入れた。

2018年より上記の体制で授業を行っているが、NUPACEの留学生を対象にしたニーズ調査を行い、彼らのニーズを明らかにすることによって学生の求めるきめの細かい日本語教育が提供できると考えている。そして、多様化している留学生の日本語教育に対するニーズに適應できるカリキュラムの構築に繋げていきたい。

今回の調査目的は、以下の3点である。

- 1) 日本語の授業以外での日本語使用状況
- 2) 日本語の授業以外での日本語の必要性
- 3) 留学期間中の日本語の到達目標

2. 調査の方法

実施期間：2019年12月4日（水）～12月25日（水）

形式： アンケート形式（記述式）

方法： 紙媒体で授業後に実施

対象： 2019年秋学期にNUPACE日本語コースに在籍する者、94名

アンケートの内容：

留学生の日本語の授業以外での日本語使用度、日本語の必要性、日本語の到達目標、満足度などについて、6項目で作成。さらに出身地域、留学期間、履修している日本語のコースなど8項目の属性についても質問した。被験者である留学生の負担が少なくなるように調査項目は厳選し、A3サイズ1枚にまとめた。調査に要した時間は10分～15程度であった。また、言語は日本語と英語の両方を用意し、記入も英語でも日本語でも良いとした。アンケート用紙は本稿の最後に添付する。

3. 集計結果

3. 1 属性

94名の留学生の集計結果を項目ごとに表示する。まず、属性について結果を示す。

3. 1. 1 出身国と地域

25の国と地域からの留学生が日本語コースを受講している。内訳は下の図の通りである。

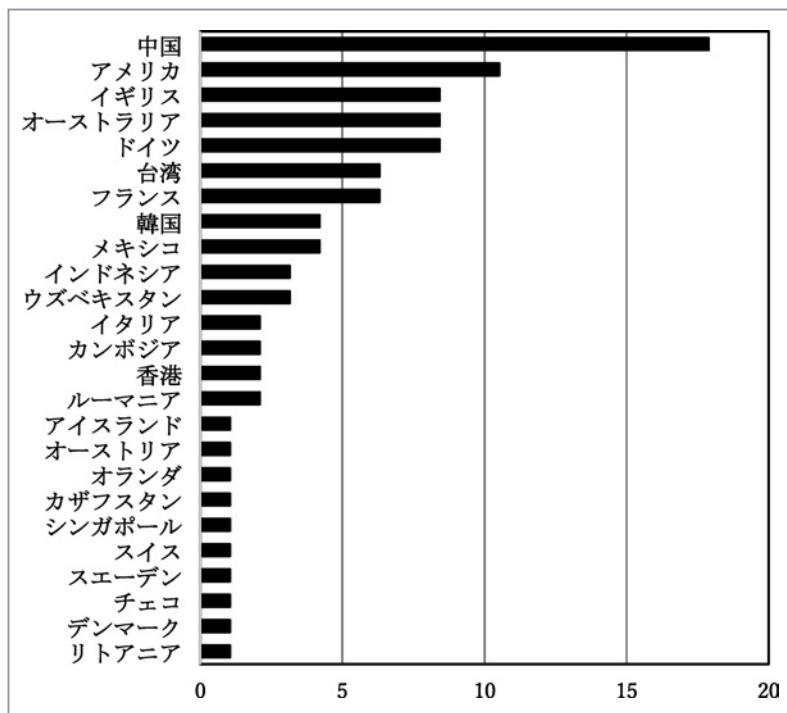


図1 出身国と地域 (%)

3. 1. 2 留学期間

名古屋大学での留学期間は半年と答えた人が52%、1年と答えた人が

48%と約半分ずつであった。

3. 1. 3 日本語のレベル

名古屋大学国際言語センターの NUPACE 日本語コースは 8 レベル（NP1 コース～ NP8 コース）に分かれており、各コースの詳細は国際言語センターのホームページに掲載されている。^{（注1）}

今回の調査の回答者数をレベル別で表 1 に示す。

表 1 日本語のレベル別のアンケート回答者数

レベル	初級		中級			上級		
コース	NP1	NP2	NP3	NP4	NP5	NP6	NP7	NP8
人数	54		27			13		

3. 1. 4 日本語学習歴

来日前の出身国の大学等での日本語学習時間は、1 週間で 1 時間から 10 時間までの幅があった。従って表 2 の日本語学習期間の中で日本語学習に費やした総時間は個々の学習者によって幅があると考えられる。

表 2 日本語のレベルと日本語学習期間

レベル	人数	2 ヶ 月	3 ヶ 月	5 ヶ 月	6 ヶ 月	7 ヶ 月	8 ヶ 月	9 ヶ 月	11 ヶ 月	1 年	2 年	2 年 半	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年
初級	54	32	1	4	3		5	1	1	1	4		2				
中級	27									5	11	3	5	2		1	
上級	13										2		3	4	2	1	1

3. 2 学習者の日本語の授業以外での日本語使用状況

3. 2. 1 日本語の授業以外での日本語の使用の有無

日本語の授業以外での日本語の使用の有無は以下の図2に示す。初級は3分の2に留まったが、中級以上はほとんどすべての学習者が日本語の授業以外で日本語を使用していることがわかった。

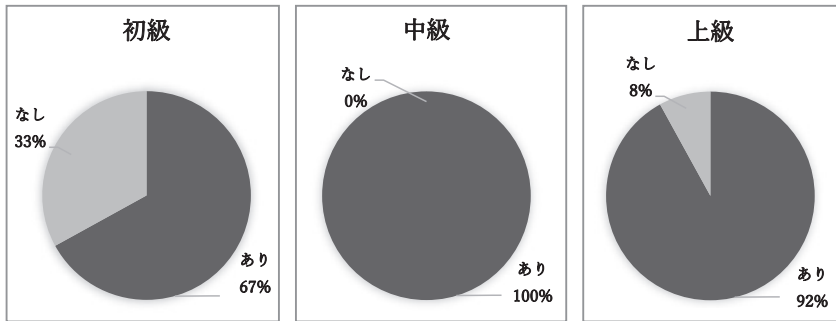


図2 授業以外の日本語の使用の有無 (%)

3. 2. 2 日本語の授業以外で日本語を話す相手

次に、日本語を話す相手をレベルごとの割合を示した(図3)。単位は%である。

全てのレベルから「友達」、「チューター」、「専門の勉強」の3つが抽出された。加えて初級と中級のレベルからは「店員」、「知らない人」そして初級からは「ホストファミリー」、中級からは「アルバイト」が抽出された。各レベルに1人しかいないものは「その他」とした。「友達」には日本人の友達と留学生の友達のどちらも含まれており、サークルの友達、部活の友達、寮の友達などもあげられていた。「チューター」は名古屋大学の日本人学生がNUPACEの留学生と週に1時間会って留学生の勉学・研究効果の向上を図るための個人指導・支援をするシステムである。「専門の勉強」は日本語の授業以外のNUPACE留学生の専門の授業や研究室、実験室での先生、先輩や友達との会話を指す。最後に「店員」はスーパーやコンビニの店やレストランの店員との会話であるが、レストランより店のほ

うが2倍ほど人数が多かった。

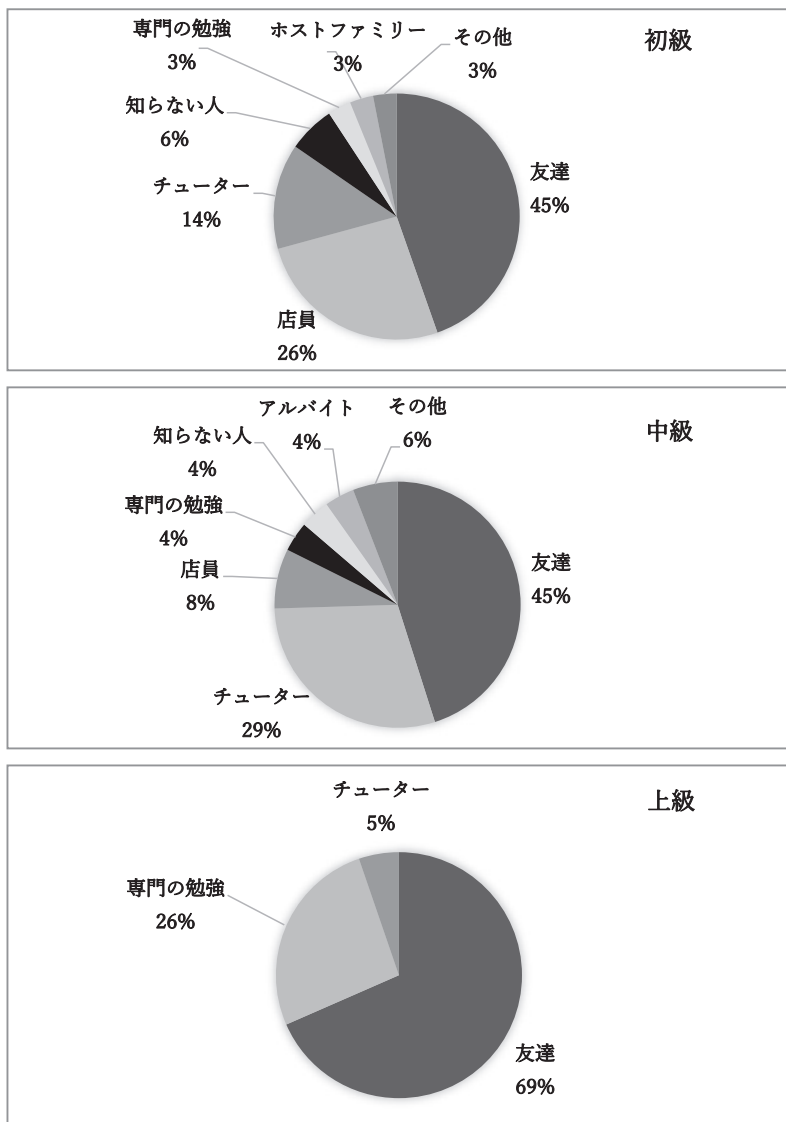


図3 日本語の授業時間以外で日本語を話す相手（％）

図4は2レベル以上で選ばれていた日本語使用の相手をレベル別で比較したものである。レベル内での割合を比較したもので、単位は%である。

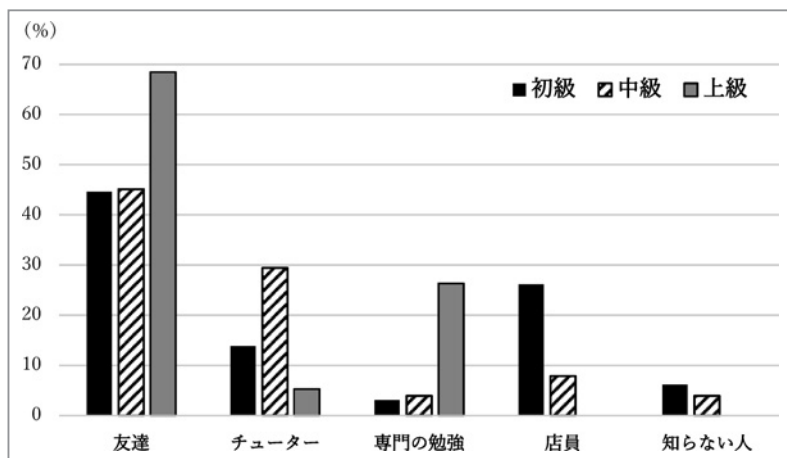


図4 日本語の授業以外での日本語使用の相手のレベル別比較 (%)

「友達」と日本語で話す割合が全てのレベルで比較的高かったが、上級レベルでは70%近くもあった。ただ、ほとんどの学生が「友達」としか記述がなく、日本人の友達か留学生の友達か、また、部活の友達か寮の友達かなど詳しい関係ははっきりしていない。次回の調査で明らかにしたいと考えている。次の「チューター」はほとんど全てのNUPACEの学生と日本人学生が週に1時間会うようにセッティングされているにも関わらず、日本語を話す相手としては割合が低い。一番多い中級レベルで30%を切り、上級では10%未満という残念な結果となっている。この辺りも次の調査で何故このような結果になっているのかインタビューをして追及したい。「専門の勉強」は全体的に少ないものの、上級になると著しく増加していることがわかる。「店員」は初級では多いが、それ以降は減少し、上級では0%となる。「知らない人」と日本語でコンタクトがある率は全体的に少ない。

3. 2. 3 日本語の授業以外で日本語を話す時間

日本語の授業以外に日本語を話す時間については平均して1日に何分話すかを図5に示した。

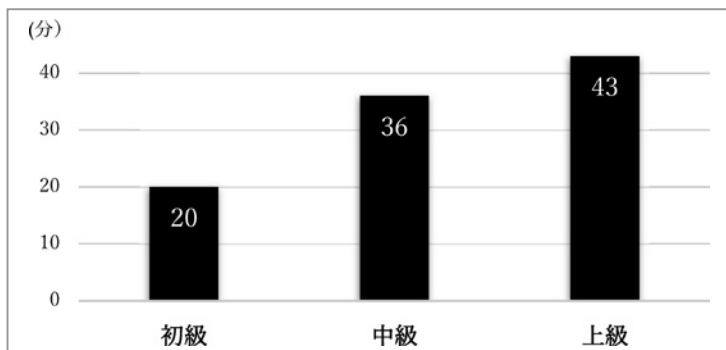


図5 一日に日本語の授業以外で日本語を話す時間（分）

上級になるにつれて1日に日本語を話す時間が増加している。初級では毎日1時間以上話す学習者は8%、中級では20%、上級では全体の半分を占めていることもわかった。

3. 3 学習者の日本語の授業以外での日本語の必要性

日本に来てから日本語がどのような場面で必要であるか、レベルごとに多いものからグラフで図6に示した。単位は件数である。全てのレベルで「買い物」、「レストラン」、「コミュニケーション」、「旅行」、「日常生活」、「公的機関」、「専門の勉強」7種類が抽出された。この場面の中で「日常生活」は中級をはじめ、のレベルでも上位に入っているが、これについてはまとめて詳しく述べる。「コミュニケーション」はサークル、寮、部活、研究室などの友達、先生、先輩とのコミュニケーションで情報の伝達ではなく自分の考えや感情を伝えたり、意見交換することを指す。「旅行」は旅行する際、道を聞いたり情報を集めたりという行動が含まれている。「公的機関」は公的機関でのやりとりであり、区役所や病院や郵便局で受付を

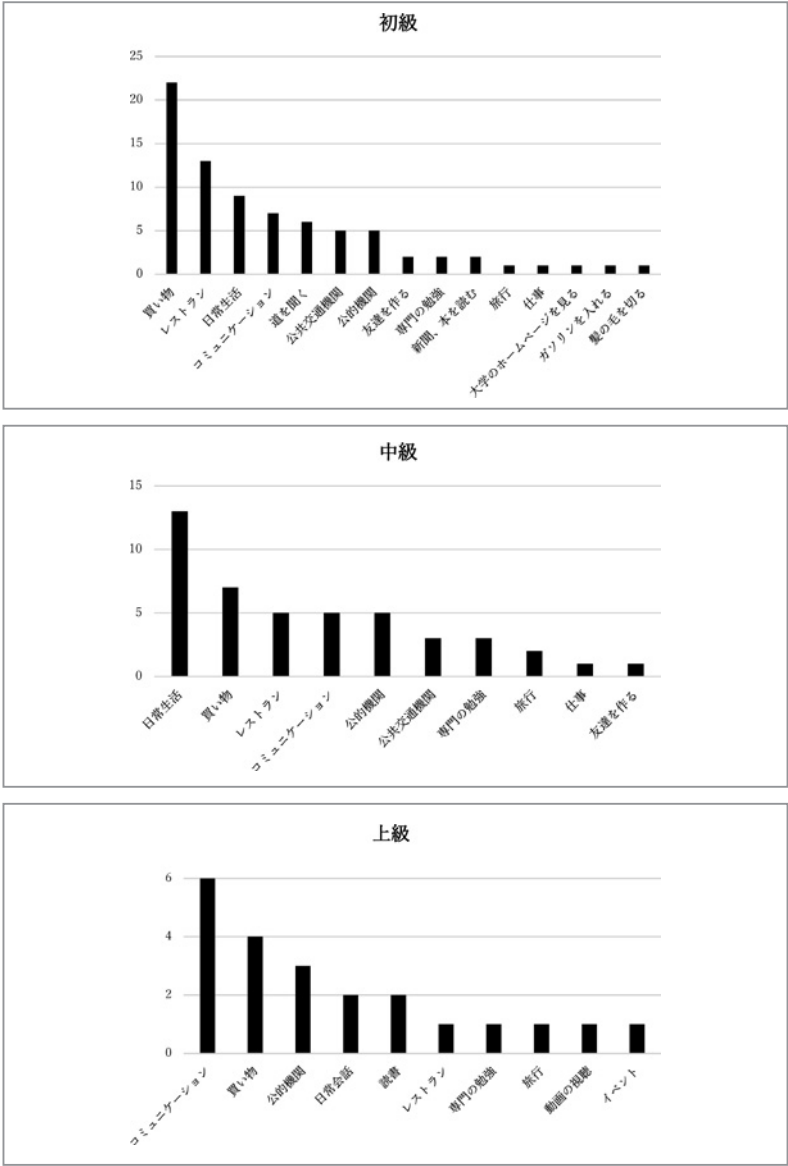


図6 日本語の授業時間以外で日本語を話す場面 (件)

したり書類に記入したり、相談したりすることが含まれている。「公共交通機関」はバス、電車、飛行機などの利用の際に刻を聞いたり場所を聞いたり、スタッフと話をすることなどである。「仕事」とあるが、これは留学生なのでアルバイトと考えられる、アルバイトの面接や仕事そのものを指す。

各レベルで日本語が一番必要だと感じられている場面が異なっていることが明らかである。初級では「買い物」中級では「日常生活」、上級では「コミュニケーション」である。どのレベルに関しても「買い物」は日本語が必要だと感じられているようであるが、とりわけ初級では多くの学習者が必要な場面だと回答している。

3. 4 学習者の日本留学期間の日本語の到達目標

3. 4. 1 日本語の到達目標

名古屋大学に留学期間中に到達したい目標は様々で傾向としては示しにくいですが、全レベルの60%が「話すこと」について言及していた。初級は半分の学習者が基本の会話、簡単な会話、日常生活の会話（店員、駅）ができるようになることを目標としていたが、中級より上のレベルでは日常生活の会話を目標としている学習者はいなかった。「話すこと」の到達目標をもう少し具体的に説明すると、初級では、「緊張せずに友達と話せるようになりたい」、中級では「日本語を話すことに自信を持ちたい」、「自分の考えや意見を表現したい」、上級では「自然な会話ができるようになりたい」と回答しており、レベルが上がっていくにつれ、日本語の質を求めるようになってきていることが伺えた。また、上級レベルになると、本が読めるようになりたい、深みのある文章が書きたいなど「書くこと」「読むこと」に関しても目標を掲げる学生もいることがわかった。

3. 4. 2 日本語能力試験（JLPT）の合格目標

NUPACE の日本語の授業は日本語能力試験（JLPT）合格のための授業は提供していないが、個人的に合格を目標としている学習者は各コースで

5 人から 8 人程見受けられた。どのレベルを目標としているか参考のために表 3 に示した。NP7 コース以上は日本語能力試験を目標としている学習者はいなかった。

表 3 留学期間中に合格を目標としている日本語能力試験（JLPT1）

JLPT コース	N5	N4	N3	N2	N1
NP1	○	○			
NP2			○		
NP3			○	○	
NP4			○	○	
NP5				○	○
NP6				○	○
NP7					
NP8					

3. 4. 3 一番上手になりたい技能

次に、「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」の中で一番上手になりたい技能の結果をレベルごとに示す（図 7）。単位は％である。今回も実際の人数の比較ではなく各レベルの中での 4 技能の割合を比較している。

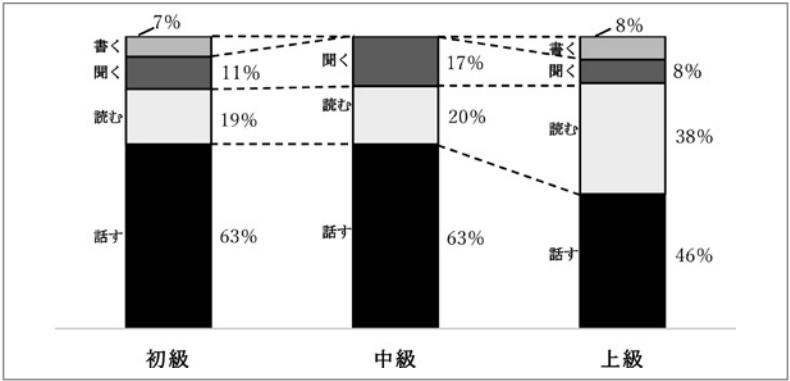


図 7 「話す」「聞く」「読む」「書く」で上手になりたい技能（％）

4 技能のうち、「話す」は初級と中級は一番上手になりたい技能としてあげる学習者が多かった。また、上級では「読む」の上達を目標としている学習者が増えていることがわかった。

4. まとめと今後の課題

1) 日本語の授業以外での日本語使用状況、2) 日本語の授業以外での日本語の必要性、3) 留学期間中の日本語の到達目標の3つの調査目的の結果（表4）をもとに初級、中級、上級の学習者のニーズを考察する。

表4 調査のまとめ

調査目標	項目	初級	中級	上級
日本語の授業以外での日本語使用状況	使用の割合	67%	100%	92%
	使用相手 割合の多い順	1. 友達 2. 店員 3. チューター	1. 友達 2. チューター 3. 店員	1. 友達 2. 専門の勉強 3. チューター
	1日の使用時間	20分	36分	43分
日本語の授業以外での日本語の必要性	使用場面 件数の多い順	1. 買い物 2. レストラン 3. 日常生活	1. 日常生活 2. 買い物 3. コミュニケーション レストラン	1. コミュニケーション 2. 買い物 3. 公的機関
留学期間中の日本語の到達目標	話す到達目標	・緊張せずに話す ・日常生活の会話（店員と）	・自分の考えや意見を伝える	・自然で流暢な会話
	他の到達目標			・本が読める ・深みのある文章を書く

初級の学習者は授業以外で日本語を話す機会は他のレベルの学生より少ない上、話す機会があったとしても話す時間は1日平均20分と一番短かった。そして、「友達」の次に「店員（店やレストラン）」と日本語で話す機会が多く、「買い物」の場面で日本語を最も必要としていることがわかった。興味深いのは初級だけでなく中上級も「買い物」と回答した学習者が比較的多くいるということである。初級の学習者は「商品の値段や場所を聞くため」と答えたのに対して中上級の学習者は「店員におすすめの商品を聞いたり、商品について質問したり、説明を受けたりする時に日本語が

必要だ」と回答した。同じ「買い物」という場面でも使用したい日本語に対する要求度が違ってくるようである。「レストラン」は「買い物」ほど必要とされていないが、ここでも、初級では「メニューが読めない」、「商品の場所が聞けない」、「店員の言っていることが分からない」と回答しているのに対し、中級以上の学習者は「おすそめを聞きたい」、「説明を聞きたい」と使用する日本語の要求が高くなっていることがわかる。留学期間の日本語の目標に関しては必要としている日本語がそのまま到達目標になっている。つまり、店やレストランの店員との会話を始めとした日本で生活するための最低限の簡単な日常会話ができることが到達目標である。

中級の学習者は授業以外で全員が日本語を話す機会があり、話す時間も初級より15分ほど長い36分であった。話す相手は「友達」の次に「チューター」が多かった。また、日本語を必要としている場面は「日常生活」という回答が多かった。この「日常生活」で使われる日本語は多岐にわたるので何を指しているかは質問紙だけでは把握するのは難しいが、初級では「助けが欲しいとき」、「英語が話せる人がいないから」など差し迫った状況での日本語のやりとりを重要視しているのに比べ、中級では生活や活動を楽しむための日本語も必要という回答が見られた。文化庁（2010）は、日本で日常的な生活を営むすべての外国人を「生活者としての外国人」と定義し、日本語を使って1）健康かつ安全に生活を送る、2）自立した生活を送る、3）社会の一員として生活を送る、4）文化的な生活を送る、の4つの目標を掲げている。初級では買い物やレストランなど生活していくのに不可欠な最低限の限られた場面での日本語が要求されているが、中級ではそれに加え、上記の社会的、文化的な生活を送るために必要な日本語も求めているのではないかと考えられる。到達目標にも「情報の入手のための日本語の会話だけでなく、自分の考えや意見を伝えるため」の話す能力の向上を掲げている。

上級に関しては授業以外で日本語を話す機会も多く、時間も一番長く43分であった。相手は「友達」が非常に多く70%を占め、残りは「専門の勉強」の先生や友達であった。また、日本語を必要としている場面は「コミュニ

ケーション」が一番多かった。話し相手からも察することができるが、「勉強、趣味、活動をもっと楽しむため」の日本語の習得を必要としている彼らの到達目標は「自然で流暢な会話」であり、また、読むこと、書くことにも興味を示している。生活だけではなく勉強の面でも質を向上させるための日本語を必要とし、目標としていることが伺える。

以上の結果から、レベル別の大まかなニーズは見えてきたが、中、上級の回答者数を増やすことと、また、インタビューを行うことにより更なるニーズの把握を目指したいと考えている。現在は2019年度秋学期に履修した学生を対象としてインタビューを実施しており、分析を進めているが、その結果については稿を改めて報告する。

また NUPACE 以外の日本語プログラムの受講者を対象としたニーズ調査を準備しているが、その結果についても別稿で報告する予定である。

注

- 1 名古屋大学 NUPACE 日本語 <http://jp.ilc.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/japanese/special/nupace.html>（最終閲覧日：2020年2月20日）

参考文献

- 石崎俊子（2018）「短期留学生日本語プログラム2017年度」『名古屋大学国際機構 国際言語センター年報』5, pp.25-27.
- 石崎俊子（2019）「短期留学生日本語プログラム2018年度」『名古屋大学国際機構 国際言語センター年報』6, pp.35-36.
- 文化庁（2010）「『生活者としての外国人』に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について」文化審議会国語分科会 https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/nihongo_curriculum/pdf/curriculum_ver09.pdf（最終閲覧日：2020年2月20日）

付記

本報告は名古屋大学2019年度留学生支援事業「名古屋大学日本語教育スタンダードに基づく、新たなカリキュラム（NUPACE 日本語コース、全

学日本語コース)の開発」(許明子、石崎俊子、俵山雄司)として令和元年度留学生経費の助成を受けたものである。

(いしざき としこ・准教授)

(ほ みよんじゃ・教授)

(たわらやま ゆうじ・准教授)

にほんご
日本語のクラスについて聞かせてください。にほんご えいご
で書いてください。

Tell us about your Japanese class. Please write either in
Japanese or English.

- ① なまえ
名前 Name

- ② くに
国 Nationality

- ③ な ご や だいがく りゅうがくきかん
名古屋大学の留学期間 Study abroad period at Nagoya University.

- ④ じゅこう
受講している NUPACE にほんご
のコース (ex. Np4 読解)

NUPACE Japanese courses you are attending (ex. NP4 Reading)

- ⑤ いつから^{にほんご べんきょう}日本語を勉強していますか。

Since when you have been studying Japanese?

- ⑥ いま^{にほんご べんきょう}今まで日本語を勉強した時間^{じかん}はどの位^{くらい}ですか。(ex. 300時間^{じかん})

The amount of time you have spent for studying Japanese till now. (ex. 300 hours)

Hours ^{じかん}(時間)

- ⑦ 国^{くに}の大学^{だいがく}で、1週間^{1しゅうかん}に何時間^{なんじかん} (何分^{なんぶん}) 授業^{じゅぎょう}を受けましたか。

How many minutes per week did you study at the university back home?

minutes ^{ふん}(分)

- ⑧ 名古屋大学^{なごやだいがく}に来る^くまでに使^{つか}った日本語^{にほんご}のテキスト^なは何でしたか。

Which Japanese textbook did you use before you came to Nagoya University?

- ⑨ NUPACE ^{にほんご}日本語の^{じゆぎやういがい}授業以外に^{にほんご}日本語を使う^{つか}ことがありますか。

Do you use Japanese in addition to NUPACE Japanese classes?

() はい Yes () いいえ No

- ⑩ ^{うえ}上の^{しつもん}質問で「はい」と^{こた}答えた人は、^{だれ}誰とどの^{はな}ぐらい話しますか。

Those who answered yes to the above question tell us with whom do you talk to and how long?

誰と with whom ? どのぐらい how long?

- ⑪ ^{にほん}日本に^き来てから、いつ、どんな^{ばめん}場面^{なん}で何のため、^{にほんご}日本語が^{ひつよう}必要だと思^{おも}いましたか。

Since you came to Japan, when, what kind of situation and for what reason did you think you needed Japanese?

どんな^{ばめん}場面で what kind of situation?

^{なん}何のため what reason?

- ⑫ ^{いま}今の NUPACE ^{にほんごじゅぎょう}日本語授業は、^{まな}学びたいことが^{まな}学んでいますか。

Do you learn what you want to learn in NUPACE Japanese classes?

() はい Yes () いいえ No

- ⑬ ^{はな}話す、^き聞く、^よ読む、^か書くの4つの中^{なか}で一番上手^{いちばんじょうず}になりたいスキルは何^{なん}ですか。

Among speaking, listening, reading and writing, Which skill you want to become the best?

() ^{はな}話す speaking () ^き聞く listening

() ^よ読む reading () ^か書く writing

- ⑭ ^{じぶん}自分の国^{くに}に帰^{かえ}るまでにどのぐらい^{にほんご}日本語が上達^{じょうたつ}したいですか。目標^{もくひょう}は何^{なん}ですか。

How much do you want to improve your Japanese before returning to your country? What is your goal?
